

県産業賞に4企業

科学技術賞は該当者なし

県産業賞委員会は14日、県庁で審査会を開き、本年度の県産業賞を、ノイズフィルター用コイル製造のウエノ（鶴岡市、上野隆一社長）、運送業などの第一貨物（山形市、武藤幸規社長）、医薬品製造の目新製薬（天童市、大石俊樹社長）、クリーニング業のロイヤルネットワーク（酒田市、仲條啓三社長）の4企業に贈ることを決めた。県科学技術賞の該当者はいなかった。

県産業賞は県内で産業の発展に貢献し、功績が顕著な個人・団体に贈られるも、式は11月3日に山形市の文翔館で行われる。

功績と喜びの声

▽ウエノ「「トロイダルコイル自動巻き線機装置」の開発により、ノイズ除去フィルターコイルの自動生産装置の実用化に世界で初めて成功した。また、24時間稼働の自動生産とトロイダルコイルの生産量日本一を実現。本県産業の発展と

雇用拡大に貢献している。ビジネスの芽つくる

上野社長の話 地域貢献されてきた歴史受賞企業に仲間入りでき光栄。目の前の仕事を掘り下げ、次世代のビジネスの芽をつくる。ところが大切と歩んできた。取り組みを評価されたことは自信になる。今後も産業発展、雇用拡大などの地域振興を自らに課していく。

▽第一貨物「顧客がインターネットで荷物の出荷や配送状況を確認できる貨物追跡サービスを国内で最初に導入。顧客の利便性向上と業界の革新に大きく貢献

した。廃食油から精製するバイオディーゼル燃料の使用や植林など環境保全活動も積極的に展開している。物流通じて本県発展

武藤社長の話 経済のサポート役とされるトラック輸送事業でこのような栄誉ある賞を授与されることになり、大変光栄に思う。これを期に、物流を通じて本県産業の発展に貢献できるよう、全社を挙げて、一段と研さん努力を尽くしてい

く。▽目新製薬「強力な光をパルス照射してポリエチレンボトル注射剤を最終滅菌する技術を世界で初めて医薬品に実用化。高度な技術に基づき積極的な経営方針で薬容を拡大、地域雇用の創出にも大きく貢献した。地域の活性化やスポーツ振興などにも奇手している。品質と技術の向上へ

大石社長の話 各方面から多くの応援をいただいたからこそ受賞であり、深く感謝している。受賞を励みに、今後も医薬品製造の一端を担う企業として品質、技術の向上を目指しさらなる研さんを積み、信頼できる医薬品の供給に努力していきたい。▽ロイヤルネットワーク「東日本を中心に店舗を展開。女性の感性を生かしたサービスを提供している。業界では東北初となるISO9001認証や、業界初の企業格付けを取得するな

り、リーディング企業として業界、本県産業の発展向上に貢献している。創業50周年の節目に仲條社長の話 創業50周年の節目の年に身に余る賞を受賞でき、大変光栄だ。私の人生はクリーニングがすべてであり、この業界で生きてきたことにあつたため幸せを感じている。お客さまと従業員に感謝しつつ、今後もさらなる発展を目指し努力していきたい。